

# 健康づくり関連の取組の進捗等について (令和7年度の取組状況)



## 1. 関係団体との連携

- 国土交通省海事局長交代に伴い、新たに着任された新垣海事局長と面談を実施し、連携の継続と強化について確認。（令和7年10月）
- 水産庁長官交代に伴い、新たに着任された藤田長官と面談を実施し、連携の継続と強化について確認。（令和7年10月）
- 水産庁が主催する漁船安全操業推進会議（作業安全規範の現場周知等、安全対策に係る情報交換を行い、現場の状況に応じた安全確認運動の展開を目的とするもの）にて「船員の健康づくり宣言」等の船員の健康対策について講演を実施。（令和7年10月）
- 昨年度に引き続き、水産庁漁政部及び一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターと漁船を対象にした出前健康講座開催に向けた打合せ実施し、同センターの「漁師、JPサポーター」に登録がある船舶所有者及びその船員向けに生活習慣病をテーマにした出前健康講座を実施（令和7年10月）
- 全日本海員組合が主催する法務・福祉対策委員会にて、令和8年度から実施する「健診内容等の充実」（若年健診の創設、被扶養者に対する健診の充実、検査項目の追加等）について説明会を実施。（令和8年2月）



令和7年10月7日面談  
（右から北川理事長、国土交通省新垣海事局長、稼農理事）



令和7年10月21日面談  
（右から北川理事長、藤田水産庁長官、稼農理事）

## 2. 鼎談記事の掲載

- 船員の健康づくりの重要性や全国健康保険協会の取組内容を広く周知するため、国土交通省海事局（船員政策課長）、水産庁（漁政部企画課長）、全国健康保険協会船員保険部（船員保険担当理事）の三者で船員の健康づくりに関する鼎談を実施し、令和7年8月の水産経済新聞に特集記事広告として掲載。
- なお、当該鼎談記事については増刷し、船舶所有者へ送付。（令和7年9月）



【水産経済新聞社提供、著作権承諾番号R07-0056】

### 3. 「船員の健康づくり宣言」

- 協会支部（北海道、千葉、東京、神奈川、兵庫、福岡、長崎、熊本）へ勸奨協力依頼を実施。（令和7年10月）
- 食事に課題を抱える船舶所有者が多いことから、アクティブコースの支援メニューに「食事・栄養WEB相談室」（オンライン実施）を追加し提供開始。（令和7年8月）
- 健康経営優良法人認定制度で認定された船舶所有者の中で、「船員の健康づくり宣言」に未エントリーの船舶所有者8社に対し、文書及び電話にて宣言に係る勸奨を実施。（令和8年2月）
- 健康づくりに取り組む船舶所有者の好事例や簡単に作れる健康レシピ等を掲載した「船員のための健康サポートBOOK Vol.6」を「船員の健康づくり宣言」にエントリーしている船舶所有者へ送付。（令和8年2月）

<p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">「船員の健康づくり宣言」エントリー数 (令和8年1月31日時点)</p> <div style="border: 1px solid white; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">令和7年度KPI：390社（対前年度比60社増加）</p> </div>	<p style="font-size: 1.5em; font-weight: bold;">387社（+57）</p> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 5px 0;">〔</div> <p style="font-size: 0.9em;">             アクティブコース：121社（+27） [汽船109（+25） 漁船12（+2）]              シンプルコース：266社（+30） [汽船227（+27） 漁船39（+3）]         </p> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 5px 0;">〕</div>
---	--

### 4. 船員健康づくりサポーター

- 船員の健康づくりを推進するための船舶所有者と船員保険部の架け橋としての役割を担っていただく担当者を「船員健康づくりサポーター」として委嘱している。
- 「船員健康づくりサポーター」は「船員の健康づくり宣言」を実践するほか、「シンプル」「スタンダード」「アクティブ」の3つのコースに応じて、健康づくり以外にも船員保険全般にかかる広報等の役割も担っていただいている。

船員健康づくりサポーター 委嘱状況 (令和8年1月31日時点)	シンプルコース	スタンダードコース	アクティブコース	合計
	274(+41)	29(+7)	44(+16)	347(+64)
	[汽船237(+37) 漁船37(+4)]	[汽船26(+7) 漁船3(+0)]	[汽船37(+12) 漁船7(+4)]	[汽船297(+56) 漁船47(+8)]

カッコ内は対前年度末からの増減数

## 5. オンライン禁煙プログラム

- 船員保険被保険者は他健保組合に比べ喫煙率が高いことから、喫煙者に対する個別禁煙指導を、スマートフォン用アプリを介したオンラインで実施するプログラムを提供。プログラムは自身の状況に応じて3か月と6か月のいずれかの実施期間を選択可能。
- 利用勧奨として、全被保険者に対して利用案内チラシを送付。（令和7年4月）
- 船員の健康づくり宣言エントリー事業所へ送付する健康情報誌やオーダーメイド通知、健康度カルテ送付時に利用案内チラシを同封し送付。（令和7年7月～9月）

オンライン禁煙プログラム 実施状況 (令和8年1月31日時点)	登録者数 252名 〔・3か月プラン：79名 ・6か月プラン：173名〕	終了者数 71名 〔・3か月プラン：21名 ・6か月プラン：50名〕
KPI：終了者数100人以上		



【オンライン禁煙プログラムの利用案内チラシ】

## 6. 船員保険健康アプリ

- 「船員保険健康アプリ」は、健診結果の閲覧、健診結果に基づく個別の改善アドバイス、健康情報配信、船員保険部からの最新情報配信、歩数の記録ができる機能等が備わっている。
- 健診結果の閲覧や個別の改善アドバイス等の充実した機能はそのままに、健診結果を4段階評価で経年表示し、一目で健康状態が確認できる等、より使いやすいリニューアル版「船員保険健康アプリ」を配信。（令和7年10月）

船員保険健康アプリ 登録状況 (令和7年12月31日時点)	3,156名 (+531) 〔汽船2,796 (+483) 漁船342 (+47) 任意継続18 (+1) 〕

カッコ内は対前年度末からの増減数



## 7. かんたん栄養レシピの提供

- 季節ごとの旬の食材を使い、エネルギーや脂質、塩分を控えた「かんたん栄養レシピ」を作成しホームページに掲載（令和7年3月）
- 「かんたん栄養レシピ」を印刷製本し、船員保険通信とあわせて全船舶所有者へ提供。希望する船舶所有者にはインドネシア語及び英語を併記した翻訳版を提供。（令和7年9月）
- インドネシア語及び英語を併記した翻訳版をホームページへ掲載。（令和7年9月）
- 船員保険健康アプリにてインドネシア語及び英語版の「かんたん栄養レシピ」を提供していることを配信（令和8年1月）

かんたん栄養レシピ 発送状況 (令和8年1月31日時点)	翻訳版 109冊 (23社)	日本語版 3,881冊 (3,838社)
------------------------------------	-------------------	-------------------------



【かんたん栄養レシピ：インドネシア語、英語版（一部抜粋）】

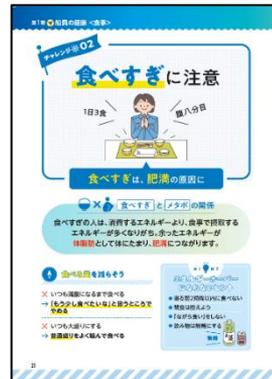
## 8. 出前健康講座

- 船員保険加入者等のヘルスリテラシーの向上を図るため、船員災害防止協会等の関係団体が開催する研修会及び船舶所有者に講師を派遣し出前健康講座を開催している。
- 船員災害防止協会を訪問し、当該協会の地方支部で開催する船員災害防止大会において講座を利用いただくよう要請。（令和7年5月）
- 「船員の健康づくり宣言」のアクティブコースエントリー船舶所有者に対して健康課題に応じた講座を実施できるよう面談を通じて調整を図っている。（随時）

出前健康講座実施状況 (令和8年1月31日時点)	船舶所有者向け 34回	関係団体向け 10回	合計 44回
-----------------------------	----------------	---------------	-----------

## 9. ヘルスコンパス

- 船員特有の健康課題や労働環境を踏まえた健康づくりに関する事項や船員保険制度全般に関する事項など多岐にわたる内容を網羅した「船員のための健康づくり冊子【ヘルスコンパス】第3版」を作成し、全船舶所有者及び全被保険者へ送付。（令和8年2月）



## 10. 船員養成校の学生に対する特別講義

- 船員は陸上勤務者よりも高ストレス者が多いという背景から、今後船員保険への加入が見込まれる海上技術学校等の船員養成機関の学生を対象に、メンタルヘルス及び船員保険制度等に関する特別講義を実施。
- 海技教育機構傘下の養成校（8か所）にてメンタルヘルスに関する特別講義を実施。（令和7年10月～令和7年12月）
- 練習船乗船後、再度特別講義を開催し、前回のメンタルヘルスに関する特別講義の内容を振り返るとともに、「船上生活から感じたストレスと対処法」をテーマにグループワーク等を実施。（令和8年1月～2月）

船名	該当学生	実施日	実施場所（停泊港）
青雲丸	・海技大学校（機関専攻）：20名 ・波方海上技術短期大学校：86名	令和8年1月26日	鹿児島港
大成丸	・海上技術学校（口之津校・館山校）：計60名 ・小樽海上技術短期大学校：41名	令和8年2月6日	神戸港
海王丸	・海技大学校（航海専攻）：20名	令和8年2月28日	神戸港

※宮古、清水、唐津校は令和8年5月実施予定

# 11. 船員デンタルケアキット

- 船員デンタルケアキットをご利用の船舶所有者(60社)宛に満足度等に関するアンケートを実施(令和8年1月)
- 当該取組は「船員の健康づくり宣言」のアクティブコースにおける支援メニューのひとつとして実施しており、船員デンタルケアキットの申込みを契機に7社がシンプルコースからアクティブコースへ変更。

実施(キット配布)状況 (令和8年1月31日時点)	60社 (2,065名分)
------------------------------	------------------

## 【アンケート結果】41社/60社：提出率68.3%

### ■ 1. アプリはお口の健康状態を確認できる良い機会になりましたか。

回答項目	回答数	割合
とても良い機会になる	10	24%
良い機会になる	24	59%
あまりにならない	3	7%
全くならない	2	5%

### ■ 2. セルフケアキット(歯磨き、デンタルフロス等)が日頃のセルフケアに役立ちましたか。

回答項目	回答数	割合
とても役立つ	14	34%
役立つ	19	46%
あまり役立たない	6	15%
全く役立たない	0	0%

### ■ 3. 船員の皆様の歯の健康に取り組む必要性を感じることができましたか。

回答項目	回答数	割合
とても感じた	7	17%
感じた	24	59%
あまり感じない	9	22%
全く感じない	0	0%

### ■ 4. 船員の皆様の歯の健康に関する以下の意識や行動に変化がありましたか。 (複数回答可)

回答項目	回答数	割合
歯の健康に関する会話をする船員が増えた	7	17%
歯磨き等のセルフケアが習慣化する船員がいた	9	22%
甘いお菓子飲み物等を控える船員がいた	3	7%
歯科検診を受診するきっかけとなった船員がいた	12	29%
船員の意識に変化は無かった	17	41%
その他	2	5%

### ■ 9. その他 記述回答(一部抜粋)

- ・ デンタルフロスを初めて使用する機会が持てて良かった。歯科に行けたなどの船員の意見がありました。
- ・ デンタルケアキットは多くの船員より良かったという評価があることと、自社内のアンケートでも満足しております。
- ・ とても素晴らしいキットでしたがアプリのダウンロードまでに至る船員はとても少数でした。周知方法等もっと良いやり方があったと思うので次回機会があれば今回の結果を反映させたいです。
- ・ 船員デンタルケアキットを渡して利用してもらっているが、そのあとのアプリでの健康状態の確認ができていない。高齢の船員からはスマホにいろいろいれて行うことに抵抗があるよう。

### ■ 5. 歯の健康で船員の皆様にとってほしい情報は何か。(複数回答可)

回答項目	回答数	割合
歯磨きの仕方	12	29%
虫歯・歯周病と生活習慣病の関係	27	66%
歯に良い(悪い)食生活	15	37%
受診が必要な症状	13	32%
その他	2	5%

### ■ 6. 船員デンタルケアキットが届いてから船員の皆様への配布を終えた期間を教えてください。

回答項目	回答数	割合
2週間以内	18	44%
1か月	12	29%
2か月	5	12%
3か月	3	7%
4か月以上	3	7%

### ■ 7. 船員の皆様のセルフケアキット(歯磨き、デンタルフロス等)の主な利用状況を教えてください。

回答項目	回答数	割合
船内に持ち込み利用している	27	66%
自宅で利用している	17	41%
自社内で利用している	0	0%
利用していない	3	7%
その他	3	7%

### ■ 8. 今後も船員デンタルケアキットの申し込みをしようと思われましたか。

回答項目	回答数	割合
思う	31	76%
思わない	9	22%